

関西大学独逸文学会記録

(2022年1月～12月)

2022年3月20日、「独逸文学」66を発行した。

2022年度総会および第114回研究発表会

日時：2022年11月20日（日）13時00分～17時30分

場所：関西大学（千里山）岩崎記念館 F401 教室

○総会

- 1) 編集報告
- 2) 会計報告
- 3) 会則変更に関する審議が行われ、第10条を以下のように変更することが了承された。

旧：本学会の事務室は本学文学部ドイツ学専修合同研究室に置く。

新：本学会の事務室は本学文学部ヨーロッパ文化専修合同研究室に置く。

○研究発表会

【研究発表】

1. 小長谷拓（本学文学部ドイツ学専修3年次在学）
『ヒュペーリオン』の執筆時期におけるヘルダーリンの思想形成
2. 戸田佑喜子（本学大学院外国語教育研究科博士前期課程）
色の認識についての意味論的研究——日独の対照比較——
3. 金城ハウプトマン朱美（富山県立大学准教授）
現代における「語り」について——「日常のポエジー」を中心に

【シンポジウム】

考動力を育成するドイツ語教育を探る——関西大学におけるドイツ語教育の充実を目指して

司会：高橋秀彰（本学教授）

- (1) 嶋田宏司（関西大学非常勤講師）

ドイツ語をひとつの「言語」として伝える

- (2) 永井達夫（関西大学非常勤講師）

Landeskunde のある授業

- (3) 齊藤公輔（中京大学准教授）

動画課題とルーブリック評価——教員と学習者双方にゆとりある活動を目指して

- (4) 大前智美（大阪大学准教授）

ICTを活用したドイツ語授業における「自律学習」と「協働学習」

関西大学独逸文学会 2021 年度会計報告

(2021 年 4 月 1 日～ 2022 年 3 月 31 日)

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	3,042,784	『独逸文学』65号印刷費	311,300
		振り込み手数料	440
		64号 郵送料	28,802
学会費	227,000	通信費	2,758
会 員		『学びの扉』冊子印刷費	67,650
(専任教員3、一般会員34、大学院生2)		振り込み手数料	440
記念論文刊行補助金	278,000	文具	1,348
		アルバイト代	60,000
阪神ドイツ文学会補助金	34,600		
預金利息	14	計	472,738
		次年度繰越金*	3,109,660
合計	3,582,398	合計	3,582,398

(単位：円)

*内 訳

りそな銀行	1,722,296
郵便局	1,327,897
現金	59,467
合計残高	3,109,660